

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第2区分
【発行日】平成17年5月26日(2005.5.26)

【公開番号】特開2004-246389(P2004-246389A)
【公開日】平成16年9月2日(2004.9.2)
【年通号数】公開・登録公報2004-034
【出願番号】特願2004-147109(P2004-147109)
【国際特許分類第7版】
G 0 3 G 21/16
【F I】
G 0 3 G 15/00 5 5 4

【手続補正書】
【提出日】平成16年8月23日(2004.8.23)
【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項1】

装置本体から電力を供給されて所定の動作を行う、装置本体に対して脱着可能なユニットを備えた画像形成装置において、
上記ユニットを装置本体に対して装着する際に、装置本体に固定されて設けられたバネである装置本体側電極に対して、上記ユニットに設けられたユニット側電極が摺接移動することを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】

請求項1の画像形成装置において、
上記ユニット側電極もバネであることを特徴とする画像形成装置。

【請求項3】

請求項1又は2の画像形成装置において、
上記本体側の電極と上記ユニット側電極とを、ユニットの装置本体に対する装着動作中に、両電極間の接触箇所が変化して互いに摺動するように構成したことを特徴とする画像形成装置。

【請求項4】

請求項1又は2の画像形成装置において、
上記装置が、表面が移動するように駆動される像担持体を備え、
上記ユニットが、装置本体から互いに異なる二以上の電圧を供給されて所定の動作を行うものであり、
上記ユニットを、該像担持体の幅方向に対して直交する方向に脱着可能に構成し、
本体側、ユニット側それぞれにおける上記電圧供給のための複数の電極の配列を、該幅方向に設定したことを特徴とする画像形成装置。

【請求項5】

請求項1又は2の画像形成装置において、
上記ユニットが、装置本体から互いに異なる二以上の電圧を供給されて所定の動作を行うものであり、
本体側、ユニット側それぞれにおける上記電圧供給のための複数の電極を、最もリークしにくいように配列したことを特徴とする画像形成装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0005
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0005】

本発明は以上の問題点に鑑みなされたものであり、その目的とするところは、バイアス電極間の接触不良をなくし、高品質な画像を得ることができる画像形成装置およびユニットを提供することである。

【手続補正3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0009
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0009】

上記目的を達成するために、請求項1の発明は、装置本体から電力を供給されて所定の動作を行う、装置本体に対して脱着可能なユニットを備えた画像形成装置において、上記ユニットを装置本体に対して装着する際に、装置本体に固定されて設けられたバネである装置本体側電極に対して、上記ユニットに設けられたユニット側電極が摺接移動することを特徴とするものである。

また、請求項2の発明は、請求項1の画像形成装置において、上記ユニット側電極もバネであることを特徴とするものである。

また、請求項3の発明は、請求項1又は2の画像形成装置において、上記本体側の電極と上記ユニット側電極とを、ユニットの装置本体に対する装着動作中に、両電極間の接触箇所が変化して互いに摺動するように構成したことを特徴とするものである。

また、請求項4の発明は、請求項1又は2の画像形成装置において、上記装置が、表面が移動するように駆動される像担持体を備え、上記ユニットが、装置本体から互いに異なる二以上の電圧を供給されて所定の動作を行うものであり、上記ユニットを、該像担持体の幅方向に対して直交する方向に脱着可能に構成し、本体側、ユニット側それぞれにおける上記電圧供給のための複数の電極の配列を、該幅方向に設定したことを特徴とするものである。

また、請求項5の発明は、請求項1又は2の画像形成装置において、上記ユニットが、装置本体から互いに異なる二以上の電圧を供給されて所定の動作を行うものであり、本体側、ユニット側それぞれにおける上記電圧供給のための複数の電極を、最もリークしにくいように配列したことを特徴とするものである。

【手続補正4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0014
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0014】

請求項1乃至5の発明によれば、ユニットの装置本体に対する装着動作中に、両電極間の接触箇所が摺動するので、バイアス電極にトナー等のゴミが付着しても、この摺動で掻き落とすことができる。よって、バイアス電極の接触不良が発生しにくくなり高品質な転写画像を得ることができるという優れた効果がある。

【手続補正5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0015
【補正方法】削除
【補正の内容】